

6次産業化経営体への支援

要約

管内の農産物加工品のパッケージデザインの改善支援や成分分析の支援、講習会や個別相談会の開催により商談会シートの作成、商品力の向上を支援した。女性農産物加工グループが農業研究開発センターで開発された「柿の糖蜜漬け」の作成・販売に取り組んでおり、作成の改善支援を行った。また管内で農産物加工に取り組む農業者に対して呼びかけ「柿の糖蜜漬け」の作成実習を行い研究成果の普及に取り組んだ。

現状(背景)と課題

- ・ 農産物の生産だけでなく食品加工、流通及び販売を農業者自身が総合的に行うことで、加工賃や流通マージンなどの付加価値を農業者自身が得ることができ、農家所得の向上に資する。

目標

- ・ 商談会シートの作成支援(5商品)

活動内容

①加工品の販路拡大支援

- 1) 商品パッケージデザインの改善支援を実施(2件)。成分分析の支援を実施(4件)。
- 2) 6次産業化プランナーを講師に迎え「農産物加工品で売上げアップのための知恵と工夫」と題して、6次産業化セミナーを開催(1回)。
- 3) 管内の農業者、農産加工者を対象に、「6次産業化・農産物加工相談会」を開催し、6次産業化プランナーより個々の経営に応じて6次産業化への取組や、商談会シート作成に必要な支援を実施(3回)。
- 4) 「柿の糖蜜漬け」の生産推進で、関係機関との打合せでは、女性農産物加工グループと農業研究開発センター、当課とで今後の加工量と販売方針について打合せを実施(1回)。さらに、女性農産物加工グループに対し「柿の糖蜜漬け」の作成の改善支援を実施(1回)。また、「柿の糖蜜漬け」を作ってみたいという法人と農産加工者5名に対して「柿の糖蜜漬け研修会」を開催し、作成実習を実施(1回)。
- 5) 「柿の糖蜜漬け」の加工へ農業者に誘導するために管内農業者に対して研修会への呼びかけチラシを配布(五條市役所農林政策課、下市町役場地域づくり推進課で窓口での配架、吉野4HC、女性指導農業士の交流会等)。また、研修会への呼びかけチラシを管内41件の農産加工者へ案内を送付し、6件の参加希望を獲得。

成果

- ・ 商品パッケージデザイン改善、成分分析をし、農産物加工品の販売力の向上を支援
- ・ 6次産業化セミナー、6次産業化・農産物加工相談会を実施し、自分の農産物加工品のPRできる点を整理。
- ・ 商談会シートの作成支援(5商品)
- ・ 「柿の糖蜜漬け」の作成へ5名の農業者を誘導し、作成実習を行い、作成販売意欲の向上を支援。

普及活動のポイント

- ・ 6次産業化プランナーやデザイナーと6次産業化に取り組む農業者とをコーディネートし、商品の販売力の向上を支援することにより、農業者の意識改革を図った。
- ・ 農業研究開発センターで開発された「柿の糖蜜漬け」について普及を図り、管内の農産加工に取り組む農業者に対して「柿の糖蜜漬け」作成研修を行い、新たな農産加工品としての作成販売を誘導した。
- ・ 行政の事業を有効活用した。

対象の変化

- ・ 自分の商品のPRできる場所を客観的に見る目を養うことができ、販路拡大に意欲が高まった。

対象者からのコメント

- ・ 改善したラベルのデザインはお客さんに評判が良く、とてもよかった。
- ・ ラベルを改善したので、新たな販路の拡大に取り組もうと思う。

これからの活動ビジョン

今後も研修会等を開催し、農産物加工品の販売力の向上を支援。「柿の糖蜜漬け」については既に生産販売をしている女性農産物加工グループに対して、作業効率の改善についてさらに支援を実施。他の研修受講者については、「柿の糖蜜漬け」の生産販売の状況について確認するとともに、生産していない場合、原因の分析を実施。



柿の糖蜜漬け研修会の開催



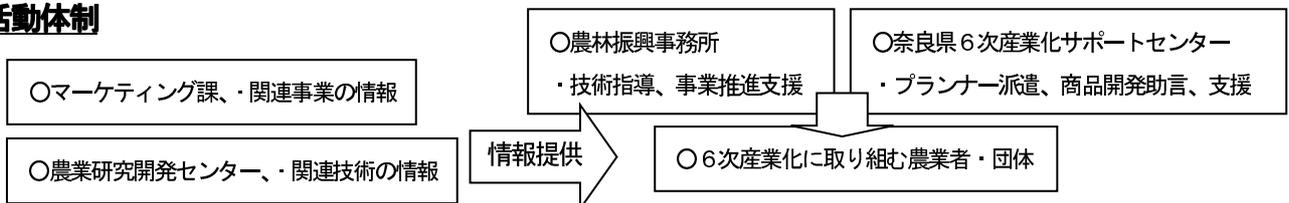
6次産業化セミナーの開催



パッケージデザイン改善支援例

南部農林振興事務所農業普及課
担当：担い手・農地マネジメント係 門
地域資源加工品の魅力向上支援事業

活動体制



用語解説

農業の6次産業化

農業生産（1次産業）、農産加工（2次産業）に加え、販売サービス業（3次産業）を農業者が独自で、または他者との連携で取り組むこと。1次×2次×3次＝6次という考え。

6次産業化プランナー

農業の6次産業化支援事業において国や地方自治体が開設する6次産業化サポートセンターより派遣されるアドバイザー。